

今村復興大臣宮城県訪問ぶら下がり記者会見録  
(平成28年9月9日(金) 17:30～17:38 於) 宮城県岩沼市)

1. 発言要旨

本日は、仙台市での「東北地方経済懇談会」に行きまして御挨拶させていただきました。そしてその後、名取市、岩沼市を訪問いたしました。名取市では、閑上地区の区画整理事業、そして水産加工施設、岩沼市では、「千年希望の丘」の追悼施設や岩沼復興アグリツーリズムの取組、また玉浦西地区の防集団地の視察を行ったところでもあります。

2. 質疑応答

(問) 明後日で震災から5年半を迎えます。改めて被災地をご覧になって御所感はいかがでしたか。

(答) 今日、この「千年希望の丘」等々を上ってみましたけれども、改めてあんな高いところまで巨大な海が押し寄せてきたのかということ、本当に大変だったなということを改めて痛感したところでもあります。

特に、私たちが昔教えられたことでは、津波というのはどちらかというリアス式の海岸に打ち寄せてきて、そこでぐっと上がっていくということが先入観にあったわけですが、これだけ長大な海岸にあれだけの高さの海水が押し寄せるといのは、とんでもないことが起きたんだなということを改めて痛感したところでもあります。しかし、そういう非常に辛い経験を踏まえながら、皆さん方がしっかりとこれから再建に向けて頑張っておられることに、改めて私も感動したところでありまして、ぜひこれから、基盤整備はある程度できてきていますから、それから生活の再建、あるいはいろいろな生業の再建、そういったところに更に力を入れなければいけないなということを痛感したところでもあります。

(問) 今後、6年目に向けて、どのようなビジョンをお持ちか改めて聞かせていただけますか。

(答) 今申しましたように、せっかくこうやって基盤整備ができてきているわけですから、これをしっかり生かして、そしていろんな形で、また国としてもいろんな予算面あるいは制度面でも応援をして、こういったところにいろんな働き場ができる、企業誘致相当を含めてですね、そういったソフト面の整理、応援をしっかりとやっていこうじゃないかと。そして、ここでもそうありますが、やっぱり高齢者の人が多いんですね。だから、若い人たちがここに戻ってきて、そして若いまちをこれからつくっていくんだということもこれから大きな課題であるというふうに思っております。

(問) もう一点、県民の関心事が高いことといたしまして、東京オリンピックが被災地でどのように開催されるかということがあると思うんですけども、2点伺いたいんですが、まず、サッカー会場の候補に宮城県なっているかと思うんですが、それについて進捗状況といいますか今後どのように進めていかれるか教えていただけますか。

(答) 私がいただいている資料では、サッカーがちゃんと記載されております。そして、そのほかにも福島に今お願いしようとしているのは、野球・ソフトボールは何とかならないかということで、特に今回5競技増えるわけですから、そのうちの一つでも何としても持ってこられないかと。岩手のほうはワールドカップがありますから、それでいく。そうすると被災地3県中心にできるということで、宮城県についても、そうやって大体ちゃんとノミネートしたような格好に入っていますから、これはぜひ実際やれるように加速したいと思いますか、そういうことでやっていきたいと思っています。

(問) 小池東京都知事と、聖火リレー、フラッグツアーについてお話されたかと思うんですが、それについては改めていかがですか。

(答) 昨日そういうお話をさせていただきました。知事のほうからそういう具体的な提案をされたので、私もびっくりしたのは、やっぱりかなり関心を持っておられるなど、そういう具体的な話も出ましたし、大変私も力強く思いまして、これから丸川大臣あるいは組織委員会の皆さんともよく相談し、またお願いをして、先ほど言われた、復興五輪には、この日本の被災にめげず立派にこうやって復興したんだということを、日本の民族の誇りをかけて世界の皆さん方にお示しできるように頑張らなければいけないなということを改めて痛感したところであり、小池知事も、ぜひ一緒にやりましょうということで、私も大変頼もしく思いました。

(問) 先ほど住民の方々と会話されていましたが、どういった内容を話されて、また、どういった感想をお持ちになりましたか。

(答) 皆さん非常に仲良く、和気あいあいとやっておられるなという気がしました。いろんなところからお集まりのようではありますが、大変うれしく思ったし、私も元気が出ました。

その中で幾つか話があったんですが、一つは、非常に皆さん歌が好きだという話で、実は私も演歌・歌謡曲を応援する議員連盟の幹事長をやっています、これは杉良太郎さんからお話を頂いて引き受けたんですが、そういうこともやっておりますから、ぜひカラオケの設備、大したことじゃないと思いますがそういったものについても応援してくれということなので、ぜひやりましょう。ついては、ぜひ皆さんしっかり練習して、今度コンクールや

りましょうみたいな話をしました。

それからもう一つは、野菜づくりですね。これはいろんな意味で手を動かし、頭を動かし、体を動かし、大変お年寄りのと言ったら何ですが、みんな若い人もそうですけど、いい趣味なんですよ。そこでつくった物を自分たちで食べてもいいし、さっき聞いたら、あそこのお店にも出してやるというようなことで、ぜひ菜園づくりをやってみようじゃないかということで、この二つは市長さんとも相談しながら進めていこう。せっかくここに来たからにはそのぐらいのことをやらないとということのを思った次第であります。

(問) 今日の東経連の御挨拶の中で、主に産業と観光と五輪というのを挙げていらっしゃるけれども、今後ソフト面での支援等のビジョンを描いていく中で、今回の視察の中で非常に役立ったもの、特に印象に残っているものがありましたら教えていただきたいんですが。

(答) 挨拶でも申しましたが、皆さんの顔つきから、やるぞという気概を感じたのが、非常に私にとってはうれしかったなと思っております。

今日はもう時間が余りなかったので言わなかったんですが、例えば、今、製造業でいうとトヨタ関係の企業を中心にいろんなことが出てきてありますから、ぜひ、これからそういった名古屋地区に次ぐ東北が第二の拠点になると。今九州にも随分来ましたがね、今度は東の拠点にぜひやっていけばいいじゃないかと。そして、その中で港の話もちよっとしましたが、仙台港というのはある意味ではアメリカに一番近いんですよ。そして、これから先は北極海航路がいよいよ開発されると、そういう意味でも非常に拠点になります。

それからクルーズ船という話もしましたが、実はクルーズ船というのは、旅客ターミナルより、むしろ貨物港のほうが向いているところがあります。なぜかという、バスが長いですから、クルーズ船は大きいですから、それは入ります。それからもう一つは、クルーズ船があるとバスがいっぱい集まってくるんですよ。バスヤードをこういった貨物港は広くとれますから、そういったことも含めて、いろんな角度から観光、産業、それぞれ地域の産業を含めて総合的にやっていくことができるんじゃないかなということのを改めて思った次第であります。

今日は榊原会長もお見えになっていて、ぜひ東レもひとつ工場でもつくってもらえればありがたいなと思っておりますけどね。世界の飛行機は、今、東レの炭素繊維がつくって飛ばしているわけですから、ぜひ東レの翼で炭素繊維でもって東北をぐっと飛躍させるというぐらいのつもりで、とにかくいろんな会社に呼びかけて、

ぜひ一大拠点に東北をやっていけばというふうに思っております。  
(以 上)